

IMPULSE TESTERS PG10-200 / PG12-360

ソーラモジュール絶縁試験器 IEC61730-2 準拠

0.5- 10 kV(PG10-200) / 1.0-12 KV(PG12-360)



ソーラモジュール用高電圧(10KV/12KV)インパルス絶縁試験器 PG10-200 / PG12-360

概要

ソーラ(太陽電池)モジュールの国際規格であるIEC61730-2 10.5項 (Impulse Voltage Test) に準拠した標準サージ電圧波形 $1.2/50 \mu s$ をソーラーモジュールに印加し、モジュールの絶縁状態を試験します。ソーラーモジュール内部の銅箔被覆は比較的高いコンデンサで約10-183nFです。このような高いコンデンサの異なるEUTに対し指定したインパルス波形を発生させることが出来るので、多様な寸法のソーラーモジュールのテストが可能です。また高電圧パルス・ジェネレーター回路には7つの異なるパルス・フォーミング・ネットワークを採用することで、精密なテストインパルスを作り出すことが可能になっています。操作は、極めて容易なフロントパネルオペレーションキーにより、IEC準拠した試験を安全・確実に行えるように設計されています。

特徴

- ・ コンパクトデザイン 453*320*520 mm (W * H * D) 重量 22kg
- ・ IEC準拠した精密なテストインパルスの発生
- ・ パルス・フォーミング・ネットワーク採用

ウェーブクレスト株式会社



セパレータ絶縁不良検出

リチウムイオン電池生産ライン用**セパレータ絶縁不良検出**が可能です。
電解液注入前のリチウムイオン電池素子における、金属粉の混入・ピンホール・傷などによるセパレータの絶縁不良を、独自のインパルス技術により、検出します。

- ・耐圧試験器や絶縁抵抗計では発見しにくい絶縁不良を検出
- ・微弱なエネルギーのインパルス印加により被試験体へのダメージを最小化
- ・量産工場的高速タクトに対応

● 検出方法

1. 電解液注入前のリチウムイオン電池素子にインパルス印加
2. 試験時間中の印加エネルギー（電圧波形）を常時モニタリング
3. 残存エネルギーの除電

パルス・フォーミング・ネットワーク $C_p = 10 - 183\text{nF}$

Area	EUTキャパシタンス	EUTキャパシタンス・レンジ
0	15nF	10- 16nF
1	22nF	16- 27nF
2	33nF	27- 40nF
3	47nF	40- 57nF
4	68nF	57- 83nF
5	100nF	84-122nF
6	150nF	123-183nF



仕様

外形寸法 : (W)453 × (H)320 × (D)520 mm 重量 : 22Kg 電源 : 230V, 50/60Hz

インパルス出力電圧 : 調整±5% 0.5-10kV (PG10-200) / 1.0-12kV (PG12-360)

インパルス出力電圧波形 : 上り時間 $1.2\mu\text{s} \pm 30\%$, 下り時間 $50\mu\text{s} \pm 20\%$

最大蓄積エネルギー C_s : 250J (PG10-200) / 360J (PG12-360)

外部トリガー入力 : 10V@1k Ω , 外部トリガー出力 : 10V@1k Ω

充電時間 : 10秒

標準付属品

本体ケーブル HV接続ケーブル キー 操作指示書

オプション

ジェネレーターのリモートコントロール用PCソフト (WindowsXP)

PCインターフェース USB/RS232



ウェーブクレスト株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所1-27-5 プレム武蔵浦和7F

Tel. 048-764-9969 Fax. 050-3488-9847 Email. info@wavecrestkk.co.jp

<http://www.wavecrestkk.co.jp>

☆ 本製品に関するお問合せは上記連絡先までお願い致します。